

船舶事故等調査報告書

平成24年10月25日  
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2012那第29号	
事故等種類	乗揚	
発生日時	平成24年6月9日（土） 14時06分ごろ	
発生場所	沖縄県竹富町 <sup>なかま</sup> 仲間港南東沖 仲間港南防波堤灯台から真方位142°1,170m付近 （概位 北緯24°15.7′ 東経123°53.5′）	
事故等調査の経過	平成24年6月15日、本事故の調査を担当する主管調査官（那覇事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報	船種船名、総トン数 旅客船 第十二あんえい号、19トン 船舶番号、船舶所有者等 240-57102 沖縄、有限会社安栄観光 乗組員等に関する情報 船長、一級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士・特定 死傷者等 なし 損傷 プロペラ翼曲損、舵曲損	
事故等の経過	本船は、船長ほか1人が乗り組み、旅客88人を乗せ、仲間港南東方沖の仲間港第3号灯標付近を速力約26ノット（kn）で北西進中、近づいてくる反航船を減速せずに右転して避航したところ、平成24年6月9日14時06分ごろ付近のさんご礁に乗り揚げた。 船長は、船体の安全を確認し、仲間港へ自力で航行した。	
気象・海象	気象：天気 曇り、風向 南西、風力 4 海象：波高 約1.5m、潮汐 下げ潮の中央期	
その他の事項	船長は、衝撃音に驚いてクラッチを中立にし、旅客の安全を確かめ、続いてエンジンルームを確認したところ、特に損傷した様子はなく、操縦席に戻ってクラッチを操作すると船は前進したが、振動を伴うため、乗り揚げたことを知った。	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	あり なし なし 本船は、仲間港第3号灯標付近を約26knで北西進中、反航船を避航する際、減速せずに右転したことから、旋回径が大きくなって付近のさんご礁に乗り揚げたものと考えられる。
原因	本事故は、本船が、仲間港第3号灯標付近を約26knで北西進中、反航船を避航する際、減速せずに右転したため、旋回径が大きくなって付近のさんご礁に乗り揚げたことにより発生したものと考えられる。	